北九州市立幼稚園会報〈子育て情報誌〉

はぐくみ
HA·GU·KU·MI

77号　楽しい幼稚園

平成25年9月5日

私が植えたスナップエンドウがたくさん採れたよ。
お母さんにクッキングしてもらおう！

〈松ヶ江幼稚園　5歳児〉

よーし、大きな大きなケーキを作ろう。
おいしくできるかな。砂あそび大好き！

〈小倉幼稚園　3歳児〉

ぼくたちの焼そばとたこ焼き屋さんに、
りす組とうさぎ組が買いに来てくれたよ。

〈若松幼稚園　5歳児〉

わあ！ヘルパーをつけたら浮かんだよ。
プール遊びは楽しいなあ。

〈小倉南幼稚園　4歳児〉

あなたの未来をひらく親子読書

日本図書館協会 認定司書 北九州市立中央図書館職員

轟　良子先生

1　耳からの読書、目からの読書

「この本読んで」「お話をして」と子どもが言ってきたとき、あなたはどう対応していますか。「あとでね」とつい言ってしまいがちです。

子どもが「本を読んで」と言ってくる時期は短いのです。小学校に入るまでが、読み聞かせの適齢期。10歳を超えひとり読みの楽しさを知ると、「読んであげる」と言っても子どもは振り向いてくれません。耳から聞くことで子どもはお話の世界を楽しみ、目で読む読書の力が育ちます。入学前は読み聞かせの時期です。親子で本を楽しみましょう。

2　読み聞かせで育つ親子の絆

幼い頃、あなたは読み聞かせをしてもらいましたか。読み聞かせをしてもらった子どもの多くは、読書好きになります。読書は、子どもに読解力や探求心などの生きる力を身につけさせ、視野を広げてくれます。その基礎となる読み聞かせは、親子の愛情と絆をはぐくむ親から子への言葉の贈り物です。わが子が相手のときは、特別なルールは必要ありません。まずは、親の好きな本を読んでみましょう。

3　読み継がれている本を選びましょう

たくさんの絵本を前に「何を選んだら良いのか分からない」と迷う方も多いのではないでしょうか。子どもの本を選ぶときは、出版から20年以上読み継がれている本を選ぶと良いでしょう。例えば、1967 年出版の『いないいないばあ』は500万部を超すロングセラーです。『はけたよはけたよ』『はじめてのおつかい』など、1970 年代出版の本が現在もよく読まれています。北九州市の「ブックスタート事業」で配布される絵本リストから本を選ぶことも良い方法です。わが家では、私が子どもに読んだ本を今では孫が読んでいます。親子で読み継ぐ本を見つけましょう。

4　子どもの発達や興味・関心に合わせて本を選びましょう

子どもが読みたい本と親が読んでほしい本との間にギャップがあると思ったことはありませんか。「字がたくさんある本を選びなさい」と子どもに言っている親もいます。でも、子どもは絵で本を読むことができるのです。同じ本を何度も繰り返し読んでもらうことを喜ぶ時期がありますが、全部覚えてしまうほど好きな本は手元に残しましょう。わが家の本棚ができていきます。

その子の発達や興味・関心に合った最適の本を選ぶことができるのは、親です。親が好きな本を選ぶと、読み聞かせにも感情が入り気持ちが子どもに伝わります。あなたが本好きになることは、子どもを本好きにする最大の近道です。

5　あなたの未来をひらく図書館

「あなたの未来をひらく図書館」をテーマに「第 99 回全国図書館大会福岡大会」が平成 25 年 11 月 21 日・22 日、図書館職員を対象に「アクロス福岡」で開催されます。変化の激しい現代社会では、生涯にわたる学習が必要です。全国 3,200 館を超す公共図書館は、ネットワークを結んで協力しています。「適書を適者に適時に」提供することが図書館の役割です。最適の本を求める人に必要なときに手渡すことができるよう、図書館は努力を続けています。

人生で悩んだとき、本は解決の糸口を与えてくれることがあります。例えば『こんなとき子どもにこの本を』（下村昇著）は子育ての悩みにヒントをくれます。図書館はあなたの未来をひらく鍵を発見する場所になるかもしれません。

6　近くの図書館を親子で活用しましょう

北九州市内には 17 館の図書館があり、全館で 186 万冊の蔵書があります。

各図書館では読み聞かせの会を開いたり、読書相談を受け付けたりして皆様の読書を応援しています。利用は無料です。お近くの図書館に親子で足を運んでみませんか。

親子の未来をひらく本の世界が待っています。ご活用ください。

こんなところが魅力!!

北九州市立幼稚園

忘れられない言葉

小倉南幼稚園でお世話になった我が子が今は高校三年生。13年経ってもあの頃のことが昨日のことのように思い出されます。

一番の思い出といえば、入園してから一週間、門のところで「おうちに帰る」と泣き続けたことです。初めての集団生活は、私が想像する以上に不安でたまらなかったのでしょう。しかし、園の生活にも慣れて友達もできた頃、「あのときは、幼稚園がこんなに楽しいところって知らんかったんよ」と、子どもが言った言葉を私は忘れることができません。この言葉の通り、それからは笑顔でのびのびと園での生活を楽しんでいた子どもの姿が、今でも目に浮かびます。

信頼する先生方や友達に恵まれ、過ごすことができた幼稚園での経験が、これから自分の夢に向かってはばたこうとする子どもの大きな力になっていると改めて感じています。

小倉南幼稚園修了生の保護者　中村　寛子

親子二代の幼稚園生活

今から29年前に私が通った若松幼稚園に、今、息子たちが通っています。

正直、当時の記憶はあまり残っていませんが、現在通園している息子たちを見て、当時もこんな感じだったのかな?と思っています。

市立幼稚園の良いところは、園児と先生だけでなく親との距離も近くコミュニケーションがよくとれていることや、親子行事が多いので絆をさらに深められていることなどです。

息子たちが通う若松幼稚園では、畑で野菜などを育て収穫する喜びを味わったり、親子遠足で子どもと一緒に楽しさを共感したり、運動会でも親子競技など触れ合いがたくさんあったりします。

私が通園していた当時は3年保育がなく、4歳児は1クラス、5歳児は2クラスで各クラス40人いたそうです。今は園児が減っていて少し寂しいですが、その分先生方の気配りや目配りがとても行き届いていて、子どもたちにとっても良い環境になっていると思います。

息子たちは、毎日様々な活動や行事を楽しみに幼稚園に通っています。将来三代目が若松幼稚園にお世話になることを楽しみにしています。

若松幼稚園在園児の保護者　松尾　大輔

親子で学んだ幼稚園

我が家の二人の子どもが、松ヶ江幼稚園の門をくぐったあの日から30年余りが経ちました。周りは田んぼばかりの中に幼稚園があり、赤ちゃんのような我が子が通園服に身を包み、小さな手をつないで通った日が昨日のことのように思い出されます。子離れしていない私は寂しい思いでしたが、二人の子どもは生き生きと輝いていました。

生活発表会のときに大きな口を開けて発表していた姿は、今でも思い出されます。赤土山で泥んこになった体操服を持ち帰ったときは、「こんなに元気に遊んだのね」と思うとうれしくてたまりませんでした。また、子どもの何気ない様子を見ながら親同士で語り合ったこと、先生方から助言をもらいながら親子共々成長させてもらったことなど、楽しい思い出ばかりです。

今では、孫のような園児たちに元気をもらい、大好きな松ヶ江幼稚園で仕事をしています。これからも市立幼稚園が楽しい幼稚園でありますようにと、願っています。

松ヶ江幼稚園修了生の保護者　佐藤　しのぶ

小倉幼稚園との出会いに感謝

我が家が小倉幼稚園と出会って10年になります。現在中学三年生の長男をはじめ三人の子どもがお世話になりました。

小倉幼稚園への入園を希望した理由は、園が校区内にあり小学校と近く、地域や小学校との交流が盛んである点でした。結果的に小倉幼稚園だからこそできた経験や成長が子どもたちだけでなく親の私にもあり、最善の幼稚園を選択できたという思いにつながっています。

我が子は、毎日泣きながら登園する登園拒否もどきだったり、幼稚園が大好きで休日も「幼稚園に行きたい」と私を困らせたりなど様々でした。そのような子どもたちに対して、先生方がゆっくり接してくださったおかげで、今では一日も休まず学校生活を楽しむことができる強い心と体をもった子どもに成長しています。

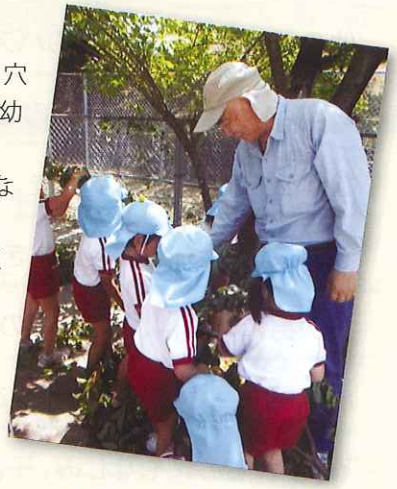
また、在園中にできたお友達は、私たち親子にとって宝物です。卒園した今でもお花見やクリスマス会、新年の女子会などを催し、親子で楽しんでいます。

思えば、雨や風の日、暑い日や寒い日の送迎。この市立幼稚園特有の送迎のスタイルがなければ、親同士の交流や卒園後のつながりも違ったものになっていたかもしれません。

私は縁があり現在隣接する市民センターで働いています。大好きな小倉幼稚園から聞こえてくる子どもたちの元気な声に今日も癒され、パワーをいただいています。

小倉幼稚園修了生の保護者　佐々木　美和

鷹の巣幼稚園と共に！



鷹の巣幼稚園は、最初は穴生公民館（現穴生市民センター）内に併設され、穴生幼稚園という名称でしたが、昭和52年に現在地への移転に伴い、鷹の巣幼稚園と改名されました。

私が、移転や落成式に関係したことをきっかけに後援会長を務めることになりました。退任後は園のボランティアとして活動し、もう36年にもなります。

人は、何らかの役目をもって生まれてくると言われていますが、私の役目はこれだったのかもしれないと思います。子ども二人、孫三人が修了し、現在四人目の孫が年中組で先生の手を煩わせています。65の齢（よわい）となった今、健康管理に留意し、自然などのすばらしい環境に恵まれたここ鷹の巣幼稚園で、元気に飛び跳ねる、ひ孫の姿を見るのが私の夢です。

鷹の巣幼稚園修了生の保護者　藤原　二郎

周年行事を通して

我が子四人と主人が黒崎幼稚園の修了生です。黒崎幼稚園は、私にとって縁の深い幼稚園です。私も何かのお役に立てればと、創立40周年行事では、記念誌作りや手作り親子式典に携わりました。記念誌作りでは、委員さんたちと冊子の企画・校正・作成等皆と協力して作ることができました。

親子式典では、園児の踊りや母親のゴレンジャー戦隊を披露するために、慣れない横跳びやジャンプの練習を何度も繰り返したり、衣装もすべて手作りしたりしました。その甲斐あって、劇はとても好評でうれしかったです。準備は大変でしたが、良い思い出になりました。

その年には、北九州市立幼稚園の廃園撤廃運動の活動をしました。11園の役員さんと嘆願書を市議会まで持って行きました。この活動を通して、自園はもちろん、他園の方々とも一緒に手を取り合って活動することの大切さを勉強させていただいたと思っています。今も、微力ですが、スクールヘルパーのお手伝いをさせていただいております。

黒崎幼稚園修了生の保護者　黒瀬　眞知子

中島教授の子育てコラム

今年度は、2回にわたって、
北九州市立大学 地域創生学群 教授 中島俊介先生のコラムを掲載します。

子育てのコツはいつもニコニコの幸福感

保育士の次男に子どものすごさを教えてもらった。子ども用の木製パズル。形がバラバラになった小片を組み合わせて元の形にする遊びである。それに慣れた子どもが一人、ある日やり始めたこと。パズルの外の枠型を使わずに、直接テーブルの上にピースを並べ始めた。周りの枠型のヒントがないので難しさは倍加する。

さすがに難しかったのか途中でそのままにして、他の遊びをやりだした。その間に他の子がやってきてそのパズルの続きをやり始めた。最初の子が戻ってきた。今度は二人で作り始めた。苦労の結果やっと完成した。喜んでいる二人の姿は「はんぱじゃなかった」と次男はいった。今まで見たことのない遊びだったという。「枠にとらわれない」なぜそんなことがおきたのだろうか。

次男によれば、たくさんの創造的なものが置いてある環境が第一という。そのパズルは外国製の2段式のけっこう高価なものである。いいものはやはり子どもにもわかる。手にも心にもなじみ、子どもの創造性を刺激する。環境が人を育てるのである。

第二に最初に始めた子どもの特質である。このパズルの子はいつも面白いことを思いつくし、粘り強くあきらめない。それに人懐こい。つまり「自己肯定感がある」と次男はいった。心理学用語の「自己肯定感」とは「自分っていいな！素敵だな！」という気持ちである。この幸せな気持ちを育てるのは周囲の大人の自己肯定感である。だから子育てで大事なことは「まず自分自身が幸せになること」である。不幸な親は子どもを幸福にはできない。現実は厳しい。しかし「運命を喜ぶものだけが正しく伸びる。そして正しく伸びるものだけが運命にかつ」（次郎物語）今の自分の「枠を超えて」現実はいいね！といえる大人でありたい。子どもの最大の環境は親自身の幸福感なのである。

子育てQ&A

このページでは、子どもたちの心と体に関する悩みや疑問を取り上げ、お答えします。

Q 朝、子どもがなかなか起きることができません。早寝早起きの習慣をつけたいのですが、どのようにすればよいですか？

A 基本的な生活習慣を身に付けることは、幼児期にとって大切な課題のひとつです。しっかり睡眠をとることで、心身ともに健康な子どもが育ちますので、「早寝・早起き」のよい生活サイクルを作りたいですね。

まずは、子どもの寝る時間を決めて就寝時間になれば寝るという習慣をつけましょう。そのためには、電灯やテレビなどを消す、親も一緒に布団に入るなど、子どもが寝るための環境を整えることが大事です。寝る前のテレビ視聴やゲームなどは脳に刺激を与えて眠りにくくしますので、絵本を読み聞かせたりそばで話をしたりするなどして穏やかに眠りに入れるようにしましょう。

また、一日の活動を振り返り、お昼寝や夕食の時間なども見直してみましょう。日中に散歩をしたり、戸外で体を使って元気いっぱい遊んだりすることで、ぐっすり眠ることができます。

朝から気持ちのいいスタートがきれるよう、ぜひ、親子で健康的な生活のリズム作りに取り組んでください。

Q うるさいくらいに話しかけてきます。どうすればよいでしょうか？

A 子どもはどんなときに話しかけてくるのでしょう。お母さんの気持ちが自分に向いてほしいという思いから、何度も話しかけるということもあります。

でも、家事や仕事が忙しくて、つい「あとでね」と言ってしまいがちになっていませんか。そのようなときは、必ず約束を守って後からしっかり子どもの話を聴いてあげるようにしましょう。

身近な人が喜んで話を聴いてくれる体験は、子どもにとって、もっと話をしようという意欲につながります。子どもの思いをできるだけ受けとめて、心から『聴いて』あげましょう。

Q 朝の身支度がなかなかできません。どうすればいいでしょうか？

A 親があせると、子どもに対してついイライラしがちになります。お子さんが身支度するための時間を多めに取って、時間と心に余裕をもって見守るようにしましょう。急がせると逆効果です。反対に時間がないからと大人が全部してしまうと、徐々に子どものやる気は失せてしまいます。

時間がかかることを想定し、お子さんが自分でするのを待ちましょう。できないところはさりげない手助けし、「自分でできた」という喜びを感じられるようにすることが、子どもの「またしよう」という意欲につながります。

また、子どもが身支度に集中できにくい状態になってないかどうか見直してみましょう。テレビを消す、身支度する場所を見直す、身に付ける物をあらかじめ整えたり置き方などを工夫したりするなど、子どもが身支度しやすい環境作りをすることも効果的です。

参考文献：保育士がこたえる子育てQ&A、全国幼児教育研究協会「保育・子育てQ&A」、きほんのき（北九州市教育委員会）

お知らせ

★ わくわく子育てセミナー ★

- 場所／戸畑市民会館中ホール(ウェルとばた)
- 日時／10月8日(火)午前10:30～12:00
- 講師／北九州少年サポートセンター
  少年育成指導官 主任 堀井 智帆 氏
- 講演題
  「生まれてきてくれて、ありがとう」

★市立幼稚園 なかよし体験デー★

- 場 所／北九州市立幼稚園8園
- 日 時／11月1日(金)午前9:30～11:30

●詳しい内容については、各北九州市立幼稚園にお問い合わせください。参加費100円が必要です。

あしたこそ！

編集後記

今年度も、編集委員一同、楽しく読みやすい会報誌作りを目指し、張り切っています。ご多用の中、ご執筆くださいました皆様に厚くお礼を申し上げます。

平成25年度 園児募集中！

園 名	TEL	園 名	TEL
松ヶ江幼稚園	481-3446	若 松幼稚園	701-0362
足 原幼稚園	921-1255	八幡東幼稚園	652-2087
小 倉幼稚園	521-1765	黒 崎幼稚園	621-4396
小倉南幼稚園	951-0568	鷹の巣幼稚園	621-4728

●詳しくは、上記の市立幼稚園8園までご連絡ください。

〈平成25年度 編集委員会〉 斉藤・浦川・柴﨑・池尻・大江・船津・佐藤・藤田・神谷
〈発行者〉北九州市立幼稚園会 〈事務局〉北九州市立足原幼稚園 TEL.921-1255 FAX.921-1501

No.1331037F